

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成18年11月2日(2006.11.2)

【公表番号】特表2006-503963(P2006-503963A)

【公表日】平成18年2月2日(2006.2.2)

【年通号数】公開・登録公報2006-005

【出願番号】特願2004-547195(P2004-547195)

【国際特許分類】

C 08 G	63/688	(2006.01)
B 65 D	65/40	(2006.01)
B 65 D	65/46	(2006.01)
C 08 K	3/00	(2006.01)
C 08 L	67/02	(2006.01)
C 08 L	101/00	(2006.01)

【F I】

C 08 G	63/688	Z B P
B 65 D	65/40	B R Q D
B 65 D	65/46	B S F
C 08 K	3/00	
C 08 L	67/02	
C 08 L	101/00	

【手続補正書】

【提出日】平成18年9月12日(2006.9.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

スルホン化脂肪族芳香族コポリエーテルエステルと、
ポリ(アルカノエート)、脂肪族ポリエステル、脂肪族芳香族ポリエステル、脂肪族芳香族ポリエーテルエステル、脂肪族芳香族ポリアミドエステル、スルホン化脂肪族芳香族ポリエステル、スルホン化脂肪族芳香族ポリエーテルエステル、熱可塑性澱粉、およびそれらの混合物とを含む1種またはそれ以上の生分解性材料であるポリマー材料を任意選択的に約5.0から約95.0重量パーセントと、
を含むフィルムであって、

前記スルホン化脂肪族芳香族コポリエーテルエステルが、
ジカルボン酸成分とスルホネート成分全体の合計100モルパーセントに対して、芳香族ジカルボン酸成分約80.0から約20.0モルパーセントまたは約80から約50モルパーセントと、脂肪族ジカルボン酸成分約20.0から約80.0モルパーセントまたは約20から約50モルパーセントと、スルホネート成分約0.1から約10.0モルパーセントまたは約0.1から約4モルパーセントと、

グリコール成分と分枝剤の合計100モルパーセントに対して、エチレングリコール、1,3-プロパンジオール、および1,4-ブタンジオールからなる群から選択される第1のグリコール成分約99.9から約76.0モルパーセントまたは約99.9から約91モルパーセントと、第2のグリコール成分0から約5.0モルパーセントと、ポリ(アルキレンエーテル)グリコール成分約0.1から約4.0モルパーセントまたは約0.1

から約4モルパーセントと、多官能性分枝剤0から5.0モルパーセントまたは0から1モルパーセントと、

任意選択的に、1種または複数の無機フィラー、有機フィラー、および粘土フィラーを含み、好ましくは、炭酸カルシウム、二酸化チタン、シリカ、タルク、硫酸バリウム、ガラスピーズ、ガラス繊維、カーボンブラック、セラミック、チヨーク、天然澱粉、変性澱粉、化学変性澱粉、米澱粉、トウモロコシ澱粉、木粉、セルロース、天然粘土、合成粘土、処理粘土、未処理粘土、有機粘土、スメクタイト粘土、ベントナイト粘土、ヘクトライト粘土、ウォラストナイト粘土、モンモリロナイト粘土、カオリンまたはそれらの混合物である少なくとも1種のフィラーとを含むことを特徴とするフィルム。

【請求項2】

スルホン化脂肪族芳香族コポリエーテルエステルと、任意選択的にポリマー材料とを含み、スルホン化脂肪族芳香族コポリエーテルエステルおよび任意選択的なポリマー材料が、請求項1に記載のとおりであることを特徴とする配向フィルム。

【請求項3】

少なくとも1層がスルホン化脂肪族芳香族コポリエーテルエステルを含み、かつ、少なくとも1層がポリマー材料を含む2から6層で構成され、スルホン化脂肪族芳香族コポリエーテルエステルおよびポリマー材料が請求項1に記載のとおりであることを特徴とする多層フィルムまたは多層配向フィルム。

【請求項4】

支持体とフィルムとを含む物品であって、支持体が、紙、板紙、無機発泡体、有機発泡体または無機有機発泡体を含み、フィルムが請求項1、2または3に記載のとおりであることを特徴とする物品。

【請求項5】

パッケージ製造プロセスであって、請求項4に記載の支持体を提供する工程と、前記支持体を所望のパッケージ形態に形成する工程と、前記支持体に、請求項1に記載のとおりのスルホン化脂肪族芳香族コポリエーテルエステルならびに、任意選択的にポリマー材料をラミネートまたはコーティングする工程とを含むことを特徴とするパッケージ製造プロセス。

【請求項6】

支持体とフィルムとを含むパッケージであって、前記パッケージが、包装体、ストレッチ包装用フィルム、袋、カップ、トレー、カートン、箱、瓶、箱枠、包装用フィルム、プリスター・パック包装体、スキン包装材、ヒンジ付容器またはこれらの2以上の組み合わせであり、支持体が請求項5に記載のとおりであり、支持体には、一軸配向フィルムであっても二軸配向フィルムであってもよいフィルムがラミネートまたはコーティングされ、当該フィルムは請求項1、2または3に記載のとおりであることを特徴とするパッケージ。

【請求項7】

請求項6に記載のパッケージに前記食品を封入することを含むことを特徴とする食品包装方法。

【請求項8】

請求項4に記載の支持体を提供する工程と、請求項1に記載のスルホン化脂肪族芳香族コポリエーテルエステルを提供する工程と、ラミネートまたはコーティングの施された支持体を所望のパッケージ形態に形成する工程とを含むことを特徴とする請求項8に記載のパッケージ製造プロセス。

【請求項9】

請求項1に記載のスルホン化脂肪族芳香族コポリエーテルエステル組成物を溶融組成物になるまで加熱する工程と、前記溶融組成物をダイで押出成形してフィルムを形成する工程と、前記フィルムを冷却する工程と、任意選択的に、組成物のガラス転移点を超え、かつこの組成物の軟化点未満の範囲でフィルムを加熱する工程と、さらに任意選択的に、このフィルムを縦方向にフィルムの未延伸長の1.5から10倍延伸し、さらに任意選択的

に、このフィルムを横方向にフィルムの未延伸幅の1.5から10倍延伸する工程とを含むことを特徴とするプロセス。